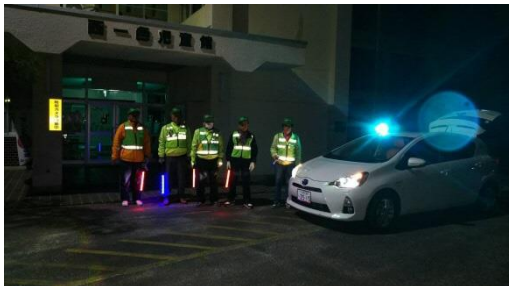





地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	西一色行政区防犯パトロール隊																												
2 事業名	住宅対象侵入盗・自動車盗撲滅事業																												
3 事業実施結果	<p>1. パトロール体制の強化（A事業）</p> <p>①地区巡回パトロールの実施</p> <p>防犯パトロール隊を青色回転灯車両3班、区域中心部の徒歩1班に編成して毎週土曜日の夜間パトロールを実施した。</p> <p>また、区主催のイベント時巡回パトロールや市主催の年末特別警戒出発式時、年末夜警時に夜間パトロールを実施した。</p> <p style="text-align: right;">（台数、回数、人数）</p> <table border="1" data-bbox="467 952 1476 1131"> <thead> <tr> <th></th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>延べ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青パト</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>徒歩</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>17</td> <td>33</td> <td>51</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">（写真：夜間の青パト巡回・夜間の徒歩巡回）</p> <p>②児童の登校時の見守りの実施</p> <p>安全なまちづくり県民運動期間中を中心に、小学生の登下校時、隊員が学校近くまで随行し、子どもの安全を確保した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">（写真：小学生の登下校）</p>		8月	9月	10月	11月	12月	延べ数	青パト	3	3	3	5	9	23	徒歩	1	1	1	2	3	8	参加人数	19	20	17	33	51	140
	8月	9月	10月	11月	12月	延べ数																							
青パト	3	3	3	5	9	23																							
徒歩	1	1	1	2	3	8																							
参加人数	19	20	17	33	51	140																							

2. 住宅対象侵入盗・自動車盗を撲滅するための啓発イベントの実施と住宅防犯診断の実施（B事業）

① 行政区主催のイベント時での啓発（11月11日）

ふるさとまつり（ウォークラリー、文化祭）において、防犯展示コーナーを新設し、豊田警察署、市の協力のもと防犯器具の展示、住宅侵入盗防止や自動車盗防止の啓発パンフレット、防犯グッズの配布、住宅防犯診断アンケートなど、来場者への防犯パトロール隊員の説明を加え、防犯啓発に努めた。



（写真：防犯展示コーナー）

② 住宅防犯診断研修会、住宅防犯診断訪問、住宅防犯診断アンケートの実施

ア、豊田警察署員の講師（2名）により、市職員（5名）、東海学園大学の防犯隊（TOPS 9名）、西一色行政区防犯パトロール隊員（6名）の参加のもと、住宅の防犯診断の進め方を研修した。研修者には「防犯診断実施者証」を渡し、その後、区民宅で実施研修を行った。（10月18日、2件）

イ、西一色行政区パトロール隊員による住宅防犯診断を実施し、診断を終了した家庭には「防犯対策実施済」シール及び防犯グッズを渡した。（12月16日、11件）

防犯診断訪問の結果としては、

- ・外構に関しては概ね良好であった。
- ・建物については、玄関のツーロック設置やC P建物部品使用は良好であったが、勝手口はやや劣っていた。
- ・防犯意識では、就寝前、外出時の施錠確認や住民同士のあいさつは全件できていた。



(写真：住宅防犯診断研修会、住宅防犯診断訪問、配布防犯グッズ)

ウ、ふるさとまつり時に住宅防犯診断アンケートを実施し、38 家庭の協力を得た。アンケート結果の概要は次のとおり。

[外構等]

録画機能付き等インターホン設置、門扉の施錠設備、門灯の設置は概ね半数。見通しの良い塀・柵の使用、垣根の剪定は半数を若干上回った。

庭に防犯カメラの設置 2 件、センサーライト設置 13 件、砂利の設置 13 件であった。

[建物]

玄関ではC P建物部品使用はドア、ガラスなどで約半数。ワンドア、ツーロック設置は 66% (25 件)。センサーライト設置は半数。ガラスが破られても手が錠に届かない構造は 26% (10 件)

勝手口でのC P建物部品使用は玄関と比べ、すべての設置で低い数値、窓ではサッシの補助錠、雨戸・シャッター設置は 55% (21 件) 住宅全体に機械警備設備の導入が 4 件あった。

[防犯意識]

外出時、就寝時には必ず施錠確認をするが 89% (34 件)、普段から補助錠など複数施錠しているのが 45% (17 件)、夜は玄関灯や門灯を点灯のままが 37% (14 件) であった。

また、住民同士のあいさつを心がけているのは 66% (25 件) であった。



(写真：アンケートお願いコーナー)

- ③ 区民宅に住宅侵入盗防止や自動車盗防止のチラシを回覧し、啓発を高めた。(12月1日)



(写真：住宅侵入盗防止チラシ、自動車盗防止チラシ)

- ④ 安全なまちづくり県民運動期間に合わせ、地域要所にのぼり旗、啓発看板を設置した。(8月11日、12月16日)



(写真：のぼり旗設置作業、設置済み啓発のぼり旗)

- ⑤ 自動車盗難防止セミナーを実施し、ナンバープレート盗難防止ネジ取付の啓発、取付方法の説明を行い、参加者 11 名にネジの配布を行った。
(12月16日)



(写真：自動車盗難防止セミナー)

3. あいさつ・声かけ運動 (D事業)

- ① 豊田警察署員の講師 (2名) により、市職員 (2名)、東海学園大学の防犯隊 (TOPS) (4名)、西一色行政区防犯パトロール隊員 (6名) も出席し、小学生 (39名)、保護者 (4名) の参加により、「子ども防犯教室」を実施した。あいさつ、声かけの大切さ、不審者の対応方法を学んだ。(10月13日)



(写真：子ども防犯教室)

- ② あいさつ、声かけ運動の啓発のため、のぼり旗、啓発看板を通学路や児童館横に設置した。



(写真：設置済み啓発のぼり旗、看板)

4. 防犯カメラの設置等活動環境促進(E事業)

① 防犯カメラの設置

駐車時のいたづら、若者のたむろが頻繁に生じたため、児童館、ふれあい会館全体を範囲とした、ネットワーク型防犯カメラ2台を設置し、犯罪抑止を図った。

② 車載カメラの設置

青色回転灯を装備した車両にドライブレコーダーを装備し、防犯パトロール中や日常の走行時の有事に対応できるようにした。(3台)



(写真：青パトドライブレコーダー設置)

(1) 事業実施の成果及び課題

全区民へこの事業(地域自主防犯活動活発化促進事業)の周知と協力を得るため説明文書を回覧した。

前述の事業の実施により、満足とは言えないが、地域住民の防犯意識が少しは高まったと思われる。

また、事業を進めていく中で、無償ボランティアである防犯パトロール隊員の防犯意識が高まり、防犯事業に積極的に携わるようになった。

今年度、ネットワーク型防犯カメラを設置し、犯罪抑止力を高めることが出来た。

住宅の防犯診断の啓発と診断申込を積極的に働きかけたが、この地域の住宅侵入盗の被害がほとんどないこともあり、期待した申込件数ではなかった。

このため、こちらからの呼びかけとイベント時の防犯診断アンケートとなった。

防犯診断アンケートは全38件であり、前述した各項目の結果件数(%)に対する是非は比較するデータがないので明確ではないが、旧来住宅と新興住宅の混在地区としては良好と考えられる。

(2) 今後の取組

毎月開催される区役員会、各団体の会合等で防犯パンフレットの配布等機会あるごとの継続的な啓発に努めていく。

現在、防犯パトロール隊員が少ないことにより隊員の負担が大きく、隊員の増強を図る。